

令和8年度 土岐紅陵高等学校

# 系列・科目選択ガイドブック



1年 \_\_\_\_\_ 組      \_\_\_\_\_ 番

2年 \_\_\_\_\_ 組      \_\_\_\_\_ 番

氏名: \_\_\_\_\_

# 目 次

内容		ページ
はじめに		1
I 科目選択の手引き		1
	1 系列について	1
	2 科目選択の手順	2
	3 選択にあたっての注意点	2

内容		ページ
II 教育課程表		3
III 「しぼり」のある科目や系列について		4
IV 資格取得について		5
V 科目別説明		下表参考
今後の日程		71

科目	履修年次	科目名	ページ
国語	3年	論理国語	6
	3年	文学国語	7
	3年	文章表現	8
地歴公民	3年	日本史探究	9
	3年	世界史探究	10
	3年	倫理	11
	2,3年	政治経済	12
数学	2年	数学Ⅱ	13
	3年	数学A(数学演習)	14
	3年	数学B	15
理科	3年	物理基礎	16
	2年	化学基礎	17
	3年	化学	18
	3年	生物	19
	3年	地学基礎	20
美術	2年	美術Ⅱ※	21
	3年	美術Ⅲ※	22
	2年	陶芸基礎	23
	3年	工芸Ⅰ	24
	2,3年	マンガ基礎	25
	2年	素描①	26
	2年	ビジュアルデザイン①	27
	3年	素描②	28
	3年	ビジュアルデザイン②	29
	3年	マンガ	30
	3年	陶芸	31
	2年	美術Ⅱ	32
	芸術	2年	音楽Ⅱ
3年		器楽(基礎)	34
3年		器楽	35
3年		保育音楽	36
3年		総合芸術	37
3年		生活の書	38

科目	履修年次	科目名	ページ
英語	2年	論理・表現Ⅰ	39
	3年	論理・表現Ⅱ	40
	2年	ディベート・ディスカッションⅠ	41
	3年	ディベート・ディスカッションⅡ	42
	2年	エッセイライティングⅠ	43
	3年	ハングル基礎	44
	2年	ハングルⅠ	45
	3年	ハングルⅡ	46
	家庭福祉	2年	社会福祉基礎
2年		介護福祉基礎①	48
3年		介護福祉基礎②	49
2年		生活と福祉	50
3年		手話	51
3年		点字	52
2年		食文化	53
2年		フードデザイン	54
2年		保育基礎	55
3年		保育実践	56
3年		調理	57
3年		栄養	58
3年		生活教養	59
3年		ファッション造形基礎	60
3年		服飾手芸	61
商業	2年	ビジネス基礎	62
	2,3年	情報処理	63
	2年	ビジネスワード	64
	2,3年	簿記①	65
	3年	ソフトウェア活用	66
	3年	ビジネス・コミュニケーション	67
	3年	簿記②	68
	3年	総合実践	69
3年	電卓実務	70	

## はじめに

土岐紅陵高等学校では2・3年次になると、幅広い選択科目の中から自分で科目を選択して学習していきます。自分自身の興味・関心、将来の目標や具体的な進路希望に基づいて 系列を選び、科目を選択しましょう。

### I 科目選択の手引き

#### 1 系列について

本校では、系列を選択して、それに沿った科目選択をしてもらいます。(詳細 次ページ)

「系列」とは、関連のある科目の集まりです。数多くの選択科目を、本校では4つのグループに分けて、そのグループを「系列」と呼んでいます。

まず、自分はどの系列にするか考えましょう。系列を選ぶ際に大切になるのは、将来の進路希望になります。まだはっきりしていない人は、これを機会に将来の生き方を考えることも大切です。ぜひ家族の方などとも相談してみてください。

以下に4つの系列の特徴について記しますので参考にしてください。

4 つ の 系 列	総合型	系列の枠組みに関わりなく、興味関心や進路目標に沿って科目を選択することで、より独自性の強い学びを展開し、自分の生き方を考え、その実現を目指します。系列の壁を越えた科目選択が可能であり、自由度が高い特徴があります。あまねく通用する基礎学力を身に付けるための必須科目(ディベートディスカッションⅠⅡ、論理国語、数学Ⅱ)を設定しています。
	食と福祉	生涯にわたる発達や生活の営みについて、食文化・福祉の視点を中心に、必要な知識と技術を習得し、男女が協力し、主体的に家庭や地域の生活を創造する能力と実践的態度を育成します。調理、栄養、福祉、保育など、様々な進路希望に対応できる生活産業に関する科目を開講しています。
	情報・ビジネス	情報やビジネスに関する基礎的な知識と技術を習得し、経済社会の一員として望ましい心構えを身に付けるとともに、コンピュータの活用能力とビジネスの諸活動を円滑に行う能力と態度を育成します。商業科目や情報科目を中心に、様々な進路希望に対応できる実学的な科目を開講しています。
	美術・工芸	美術・工芸の幅広い活動を通して、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、豊かな情操を養います。絵画、デザインなど美術大学、デザイン系専門学校等への進学に必要な科目のほかに、マンガ、陶芸、工芸など生き方の幅を広げる本校独自の芸術科目を開講しています。

## 2 科目選択の手順

### ①系列を選択

自分の進路希望等に基づき、4つの系列のうち、1つを選択します。  
次に、系列のうち主に学びたい分野を選択します。

例) 食と福祉系列⇒福祉分野  
そうすると、必須科目が自動的に決まります。



### ②授業を選択

系列の必須科目以外の授業を選択します。

※系列必須科目を選択したうえで、他の系列の科目(系列必須科目を含む)および自由  
選択科目を選択することは可能です。

※自由選択科目…4つの系列にこだわらず、自分の進路や興味・関心に合わせて、  
選択することが可能な科目

## 3 選択にあたっての注意点

- ・進路希望を意識して選択してください。
- ・2年次から3年次に系列を変更することはできません。
- ・「しぼり」(P3～4参照)に気をつけてください。
- ・実習を行う科目があります。
- ・実習費が必要な場合があります。
- ・人数制限を設ける場合があります。
- ・選択人数によっては開講できない科目があります。
- ・3年次の開講科目は変更される場合があります。

## II 教育課程表

\*網掛け部分が選択科目に相当する。

単位数	2	2	2	4	2	1	3	2	3	2	2	2	2	2	1	
1年次	前期 現代の 国語	言語 文化	公共	数学I	化学 基礎	保健	体育	芸術	英語コミュ ニケーション I	論理・ 表現 I	家庭 総合	情報 I	産業 社会と 人間 (学)	L H R	1	
単位数	3	2	3	2	1	3	2	2	2	2	2	2	2	1	1	
2年次	前期 文学国語	歴史 総合	数学A	生物 基礎	保健	体育	英語コミュ ニケーション II	家庭 総合	A1	A2	A3	B1	B2	総合 探究	L H R	
単位数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1	2	1	
3年次	前期 地理 総合	体育	英語 コミュ ニケー ション II	P1	Q1	Q2	R1	R2	S1	S2	F1	F2	F3	産業 社会と 人間 (学)	総合 探究 (課題 解決 学習)	L H R

教育課程表(選択に際して、注意の必要な「しぼり」のある科目を、同じ記号であらわしています)

選択科目群(2年次)

	総合型系列	食と福祉系列		情報・ビジネス系列		美術・工芸系列		自由選択科目	
		(食)	(福祉)	(情報)	(ビジネス)	(デザイン)	(アート)		
A1	数学Ⅱ	フードデザイン □	社会福祉基礎■	情報処理◆	簿記①◇	素描①★		系列(アート)生徒の美術	
A2			介護福祉基礎■ ①						
A3	ディベート・ディスカッションⅠ	食文化		ビジネス基礎		ビジュアルデザイン①●	美術Ⅱ※	陶芸基礎(学)○	
B1	論理・表現Ⅰ△	化学基礎▼(2,1年2単位履修)	保育基礎▽		ビジネスワード(学)	情報処理◆	マンガ基礎(学)☆	陶芸基礎(学)○	ハングルⅠ(学)◎
B2	エッセイライティングⅠ△	政治・経済	生活と福祉				美術Ⅱ		

・系列(アート)以外の生徒が選択する美術Ⅱ

選択科目群(3年次)

	総合型系列	食と福祉系列		情報・ビジネス系列		美術・工芸系列		自由選択科目			
		(食)	(福祉)	(情報)	(ビジネス)	(デザイン)	(アート)				
P1	物理基礎・地学基礎(選択必修)										
Q1	論理国語	調理□	介護福祉基礎■ ②	ソフトウェア活用◆	ビジネス・コミュニケーション	素描②★					
Q2											
R1	数学B	栄養□	手話(学)	ビジネス・コミュニケーション	簿記②◇	ビジュアルデザイン②●	美術Ⅲ※	文章表現(学)			
R2	ディベート・ディスカッションⅡ△		生活教養(学)						数学A(数学演習)		
S1	日本史探究	世界史探究(3)	化学▼	ファッション造形基礎▲		簿記①	総合実践◇	マンガ(学)☆	陶芸(学)○	器楽基礎	ハングルⅡ(学)◎
S2	文章表現(3)			点字(学)	保育実践▽				器楽	文章表現(学)	
F1	文章表現(学)	生物	情報処理		工芸Ⅰ		器楽基礎(学)	文学国語			
F2	倫理				マンガ基礎(学)	工芸Ⅰ	生活の書(学)	文学国語			
F3	政経(2年で選択しない生徒)	文章表現(学)	数字A(数学演習)	服飾手芸▲	電卓実務(学)	総合芸術(学)					

(学)は学校設定科目

網掛け(色付き部分)は系列必須科目

系列	2年次必須科目	3年次必須科目	特徴
総合型	数学Ⅱ and ディベート・ディスカッションⅠ	論理国語 and ディベート・ディスカッションⅡ	国語、数学、英語の基本スキルを磨く。文系・理系・被服・保育・ビジネス・陶芸・工芸・音楽など幅広い分野を選択できる
食と福祉	食 フードデザイン	調理	食について学びを深める
	福祉 and 社会福祉基礎 and 介護福祉基礎①	介護福祉基礎②	福祉について学びを深める
情報・ビジネス	情報 情報処理	ソフトウェア活用 or ビジネス・コミュニケーション	情報の基礎やビジネスの基礎を学ぶ
	ビジネス and ビジネス基礎 and 簿記①	ビジネス・コミュニケーション	会計やビジネスの基礎を学ぶ
美術・工芸	デザイン and 素描① and ビジュアルデザイン①	素描② and ビジュアルデザイン②	デザインについて学びを深める
	アート and 素描① and 美術Ⅱ	素描② and 美術Ⅲ	アートについて学びを深める
備考	・2年次から3年次に系列を変更することはできない。 ・系列必須科目を選択したうえで、他の系列の科目(系列必須科目を含む)を選択することは可能である。 ※美術・工芸系列の「素描②」は、2年次で「素描①」を選択していないと選択できない。 ※美術・工芸系列の「ビジュアルデザイン②」は、2年次で「ビジュアルデザイン①」を選択していないと選択できない。 ※美術・工芸系列の「美術Ⅲ」は、2年次で「A3:美術Ⅱ」を選択していないと選択できない。		

# 注意を要する科目一覧(しぼり) 令和8年度入学生用 (案)

## 1 1年次に選択していないと、2年次に選択できない科目

教科名	2年次 選択希望科目		1年次 選択必須科目	
	帯名	科目名	帯名	科目名
芸術	A3 B2	美術Ⅱ	/	美術Ⅰ
	B2	音楽Ⅱ		音楽Ⅰ

## 2 2年次に選択していないと、3年次に選択できない科目

教科名	3年次 選択希望科目		2年次 選択必須科目	
	帯名	科目名	帯名	科目名
理科	S1 S2	化学	B1	化学基礎 ☆
芸術	Q1 Q2	素描②	A1 A2	素描①
	S1 S2	マンガ	B1	マンガ基礎
	R1 R2	ビジュアルデザイン②	A3	ビジュアルデザイン①
	R1 R2	美術Ⅲ	A3	美術Ⅱ
	S1 S2	陶芸	A3	陶芸基礎
外国語・英語	F2	論理・表現Ⅱ	B1	論理・表現Ⅰ
	R2	ディベート・ディスカッションⅡ	A3	ディベート・ディスカッションⅠ
	S1	ハングルⅡ	B1 B2	ハングルⅠ
家庭福祉	Q1 Q2	介護福祉基礎②	A1	社会福祉基礎
			A2	介護福祉基礎①
	Q1 Q2	調理	A1 A2	フードデザイン ※
	R1 R2	栄養	A1 A2	フードデザイン ※
商業情報	S2	保育実践	B1	保育基礎
	Q1 Q2	ソフトウェア活用	A1 A2	情報処理
			B1 B2	情報処理
	R1 R2	簿記②	A1 A2	簿記①
	S1 S2	総合実践	A1 A2	簿記①
備考	☆「看護・理系」希望者は、化学基礎を選択するのが望ましい。 ※フードデザインを選択する場合は、以下の2つを満たしていること ①食物調理技術検定3級の合格 ②本校独自の食に関する筆記テストで規定以上の点数である			

## 3 同学年次に選択していないと、選択できない科目

教科名	2年次 選択希望科目		2年次 選択必須科目	
	帯名	科目名	帯名	科目名
外国語・英語	B2	エッセイ・ライティングⅠ	B1	論理・表現Ⅰ
教科名	3年次 選択希望科目		3年次 選択必須科目	
	帯名	科目名	帯名	科目名
家庭福祉	F3	服飾手芸	S1	ファッション造形基礎
備考	※服飾手芸を選択する場合は、ファッション造形基礎を選択しなければならない。しかし、ファッション造形基礎のみの選択は可能。			

## 4 両方の選択ができない組み合わせ(基本的に内容が同じのため)

教科名	3年次または2年次の科目		2年次または3年次の科目	
	帯名	科目名	帯名	科目名
国語	R1	文章表現 ★	S2	文章表現
			F1	文章表現
			F3	文章表現
数学	R2	数学A(数学演習)	F1	文学国語
地歴・公民	F3	政治・経済	F3	数学A(数学演習)
芸術	F2	マンガ基礎	B1	マンガ基礎
	B1	陶芸基礎	A3	陶芸基礎
	B2	美術Ⅱ	A3	美術Ⅱ※
	F1	工芸Ⅰ	F2	工芸Ⅰ
外国語英語	F1	ハングル基礎	B1 B2	ハングルⅠ
商業情報	S1 S2	簿記①	A1 A2	簿記①
	F1 F2	情報処理	A1 A2	情報処理
			B1 B2	情報処理
Q1 Q2	ビジネス・コミュニケーション	R1 R2	ビジネス・コミュニケーション	
備考	★進学希望者や就職希望者でも、3年次に「文章表現」を選ぶことが望ましい。			